

# 平成 25 年度

# 事 業 報 告 書

自 2013 年 4 月 1 日 至 2014 年 3 月 31 日



公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

# 目 次

I. 平成 25 年度 総括	1
II. 経営理念	
II. 事業報告	2
1. 事業実施状況	
2. 施設管理運営	
3. 事業実施報告概要（事業区分別）	3
4. 部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況	5
5. 各課（各施設）事業実施報告	
(1) こども育成課（指定管理事業：児童会館 104 館）	15
(受託事業：ミニ児童会館 86 館、放課後子ども館：4 館)	
(2) こども劇場課（指定管理事業：やまびこ座・こぐま座）	18
(3) 企画事業課（指定管理事業：若者支援施設 5 館）	23
(4) 企画事業課（地域活動等事業：野外活動事業）	26
(自主運営施設：滝野自然学園)	
(5) 野外活動課（指定管理事業：北方自然教育園）	27
(6) 野外活動課（指定管理事業：定山渓自然の村）	29
(7) 野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）	31
(8) 市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設）	33
(9) 市民参画課（地域活動等事業：市民活動プラザ星園）	39
(10) 企画事業課（地域活動等事業：自主事業・受託事業）	40
6. 重要な契約に関する事項	42
7. こども基金（スマイルキッズ）協力者・助成対象一覧	
III. 事務報告	43
1. 設立年月日	
2. 定款に定める目的	
3. 定款に定める事業内容	
4. 事務所の状況	
5. 役員等に関する事項	
(1) 理事      (2) 監事      (3) 評議員	
6. 職員に関する事項（事務局組織図）	45
(1) 主要な職員      (2) 職員数	
7. 会計に関する事項	47

## I. 平成 25 年度 総括

平成 25 年度は、新しい定款のもと、「公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会」と法人名称も新たに、事業活動を行う再出発の年度であった。

そして、「人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与する」ことを目的に掲げ、様々な事業活動において「人とのつながり」を意識した事業展開を行うという、いわば「古くて新しい 1 歩」を進み始めた。

このような状況の中、平成 25 年度からの新たな事業として、北海道岩見沢市において「岩見沢若者サポートステーション」を開設し、広域における若者支援事業の展開を進めているほか、当財団の事業の大半を占める札幌市の指定管理事業においては、現行契約のもと、2 期目の最終年度を迎えるにあたり、着実に事業を実施することはもとより、3 期目の事業獲得に向けた提案準備や応募にかかる業務を確実に実施し、平成 26 年度からも引き続き、同様の事業を獲得できたことなど、再出発の年度に相応しい成果を得られたことは、今後に向けた明るい事実となった。

多様化する価値観の中で、当財団の目的の達成に向い事業を行うにあたっては、ボランティア協力や善意ある寄付など、多くの人々からの支援を受けることが想定され、法令や倫理などに則った透明かつ誠実で自主的な財団運営がより強く求められることになった。

こうした公益財団法人としての責務を自覚し、職員一同、より適切な業務の執行と積極的な事業展開に今後も努めていく。



## II. 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる地域社会の創造」

## III. 事業報告

### 1. 事業実施状況

平成25年度 事業基本方針	
1	青少年の健全育成と社会参加の実現に寄与する。
2	市民活動の振興及び社会教育の推進に寄与する。
3	様々なニーズに対応した効果的な事業を展開し、先駆的な事業に積極的かつ直接的に取り組む。
4	自主事業の拡大を図り、自主財源の確保により安定した法人経営を行う。
5	組織の活性化・効率化に向けた改革を行う。

### 2. 施設管理運営

(1) 自主事業 3 施設

- ・滝野自然学園
- ・市民活動プラザ星園
- ・岩見沢若者サポートステーション

(2) 指定管理 115 施設

- ・若者支援施設 5 施設
- ・児童会館 104 施設
- ・青少年山の家 1 施設
- ・定山渓自然の村 1 施設
- ・北方自然教育園 1 施設
- ・札幌エルプラザ公共4施設 1 施設
- ・こども劇場 2 施設

(3) 受託 90 施設

- ・ミニ児童会館 (86 施設)
- ・放課後子ども館 (4 施設)

### 3. 事業実施報告概要（事業区分別）

#### 【定款第4条】 (1)青少年の健全育成と社会参加に関する事業 (2)社会教育の推進に関する事業

##### 公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

###### こども育成事業

- (1)児童会館及びミニ児童会館事業  
・青少年活動支援事業 ・体験機会創出事業 ・人材育成事業  
・施設管理運営事業 等 (詳細 P.15)
- (2)こども劇場やまびこ座・こぐま座事業  
・人材育成事業（一般対象、こども対象） ・体験機会創出事業  
・地域連携事業 ・施設管理運営事業 等 (詳細 P.18)
- (3)地域活動等事業  
・学習支援事業 (詳細 P.41)

###### 若者自立支援事業

- (1)若者支援施設事業  
・自立支援事業 ・受託事業 ・体験機会創出事業 ・人材育成事業  
・地域連携事業 ・調査研究事業 ・施設管理運営事業 (詳細 P.23)
- (2)地域活動等事業  
・自立支援事業 ・受託事業 (詳細 P.41)

###### 自然体験活動事業

- (1)滝野自然学園  
・体験機会創出事業 ・職員派遣事業 ・人材育成事業 ・情報発信事業  
・団体支援事業 ・施設管理運営事業 (詳細 P.26)
- (2)北方自然教育園事業  
・体験機会創出事業 ・地域連携事業 ・学習支援事業 等 (詳細 P.27)
- (3)定山渓自然の村事業  
・体験機会創出事業 ・地域連携事業 ・学習支援事業 ・人材育成事業  
・施設管理運営事業 (詳細 P.29)
- (4)青少年山の家事業  
・体験機会創出事業 ・人材育成事業 ・団体支援事業 (詳細 P.31)



## 【定款第4条】 (3)市民活動の振興に関する事業

### 公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

#### 市民活動振興事業

##### (1) 札幌エルプラザ公共4施設事業

- ・活動支援事業
- ・人材育成事業
- ・職員派遣事業
- ・地域連携事業
- ・情報発信事業

(詳細 P. 33)



## 【定款第4条】 (4)その他法人の目的を達成するために必要な事業

### 収1 イベント・物品貸与等事業

- ・民間企業等から受託したイベント企画運営等事業
- ・物品貸与等事業 (詳細 P.39)

### 他1 札幌エルプラザ等施設管理運営、公益目的外での施設貸与事業

- ・札幌エルプラザ公共4施設、定山渓自然の村、青少年山の家、市民活動プラザ星園 (詳細 P.41) の管理運営業務
- ・こども劇場、若者支援施設における公益目的外での施設貸与事業



#### 4. 部門別重点目標及び数値目標の達成状況

##### こども育成課・児童会館管理課

##### 児童会館・ミニ児童会館

###### 公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p>人とつながり、心が通い合う児童会館づくりをめざす</p> <p>【地域活動等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①児童会館の活動を市民に広くPRを図る。</li> <li>②社会貢献事業に取り組む。</li> <li>③関係機関との連携を図る。</li> </ul> <p>【施設運営等事業】</p> <p>■事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①異年齢による遊びや豊かな体験をとおして子どもの生きる力を育む。</li> <li>②関係機関と協力し地域の中の子育ての拠点を目指す。</li> <li>③子どもにとってより良い運営を目指しサービスの向上を図る。</li> </ul> <p>■管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地球環境問題を視野に入れ、経費節減や効果的な運営維持を進める。</li> <li>②平等利用を基本とし地域から愛される児童会館の運営を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童会館地域運営委員会全館設置：104館</li> <li>②ボランティア交流・研修事業を年1回以上実施。</li> <li>③読み聞かせ（ボランティア、職員、児童）を月4回以上実施（全館）。</li> <li>④利用者アンケート調査結果については、総合満足度：70%を目指す。</li> </ul>
<p>【達成状況】</p> <p>第2期指定管理の最終年度であること、「札幌市児童会館あり方検討委員会」(※1)の最終報告もあり積極的に活動内容のアピールに力を入れた1年であった。</p> <p>【地域活動等事業】</p> <p>利用対象者や保護者以外の市民にも児童会館の活動をPRし、次年度の方針となる「子どもが輝く活動拠点を地域とともに目指す」の準備を進めた。また、被災地への支援事業にも取り組み、被災地の児童館等への訪問やイベントへの参加協力も積極的に行つた。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>事業については、具体的に6つのプロジェクト（子どもを健やかに育てるために、子育て家庭を支えるために、地域に根ざすために、安心と安全のために、市民サービスの向上のために、研修）により各事業や管理運営を進めた。</p> <p>管理面においては、施設の老朽化に伴う修繕を余儀なくされているが、安全面と衛生面の低下にならない工夫により市民サービスの向上に努めた。</p> <p>各事業や管理運営内容の達成状況を検証した結果、次年度は、グループワーク、ケースワーク、コミュニティワークの3つの検討委員会を設置し、全職員がいずれかの委員会に属しP D C Aのサイクルで子どもたちが幸せな地域社会の形成を促進していく。</p> <p>(※1)児童会館あり方検討委員会の最終報告では、小学校の中に児童会館を合築し、体育館等の設備を合同で使用する方向が示された。第1号館は篠路児童会館・篠路小学校が平成28年4月に開設する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①児童会館地域運営委員会は、103館設置することができている。残り1館については、地域との調整が必要であり、地域運営委員会の設置も含め、未来局とも連携を図りながら調整を継続している。</p> <p>②ボランティア交流活動の実施状況については、34件、活動日数51日612名が参加。各区での実施が広がっている。</p> <p>③読み聞かせについては、児童会館、ミニ児童会館での実施回数10,647回。平均すると、4.8回の実施となっている。</p> <p>④利用者アンケートの結果、総合満足度は82.2%。接遇満足度については、85.9%。</p>

公 1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収 1 イベント・物品貸与等事業

他 1 目的外での施設貸与事業

重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b></p> <p>①地域社会における文化的役割と意義 全国でも数少ない公立の児童文化施設としての役割りを明確にし、札幌はもとより北海道、さらには全国に向けて児童文化の普及発展、文化芸術の持つ力を最大限に生かしていくよう、関係機関と連携しながら事業を展開していく。</p> <p><b>【施設運営等事業】</b></p> <p>①市民のための劇場づくり ②人材育成と創造型の劇場運営 ③最小経費で最大効果を ④児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化</p>	<p>〈年間公演数〉 200 ステージ (両劇場共通)</p> <p>〈新規人形劇団の誕生、育成〉 3 団体</p> <p>〈観客数〉 3%増</p>
<p><b>【達成状況】(やまびこ座・こぐま座)</b></p> <p>今年度やまびこ座は25周年を迎える、ひとつの節目としてこれまでの事業の振り返りを行うとともに、将来の劇場像を見据えた事業展開を実施することができた。同じくこぐま座もこれをきっかけとし劇場のあり方を今一度見つめ直す良い機会となった。</p> <p>両劇場が育成してきた劇団、また利用団体と協働しての事業実施は、これまで築き上げた関係団体との信頼関係を表す結果だといえる。また、やまびこ座・こぐま座が育成してきた子どもたちの表現活動グループの成長が目覚ましく活躍の場を多く提供することができた。</p> <p>次年度以降の積極的な市民ボランティアの活用を踏まえ、新規事業を試行的に実施。また、昨年度から引き続き、外部との連携事業も積極的に展開することができ、劇場のPRも含め、新たなつながりを作ることができた。また、プロデュース人形劇ではこれまでの実績が評価され、NHK札幌放送局からの依頼を受け、共催事業としてアイヌ人形劇の制作に取り組んだ。これから望むべき一つの形である。今後の課題としては、事業予算をどのように確保し、また少ない予算の中でどのように効果的な運用を図っていくか。各事業をつながりあるものと意識し、利用者をいかにコーディネートし、プロデュースしていくのか、職員一人一人の手腕が問われる。</p>	<p><b>【達成状況】(やまびこ座)</b></p> <p>〈年間公演数〉 203回</p> <p>〈新規劇団数〉 3 団体</p> <p>〈観客数〉 17,383人</p> <p>*前年度 16,561人 *前年比 105.0%</p> <p><b>【達成状況】(こぐま座)</b></p> <p>〈年間公演数〉 212回</p> <p>〈新規人形劇団〉 3 団体</p> <p>〈観客数〉 10,072人</p> <p>*前年度 10,366人 *前年比 97.2%</p>

## 公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1

目的外での施設貸与事業

重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b></p> <p>①今までの成果を広める広報活動を充実させる。</p> <p>②若者支援総合センター若者活動センター機能の融合が図れる事業展開とを進める。</p> <p>③他機関との連携強化を重視した事業展開に努める。</p> <p><b>【施設運営等事業】</b></p> <p>①館内外の整理整頓及び美化を徹底することで、利用者へのサービス向上とエレルギー資源の節約に努める。</p> <p>②施設利用者の意見・要望等へ応えていく。（アンケートの活用）</p> <p>③若者総合支援センター及び、活用方法のPR。 (リーフレット、HP等の活用)</p> <p>④職員の心身の健康管理に留意し、業務配分の適正化・見直しを定期的に行う。（職員会議・自己啓発研修等の活用）</p> <p>⑤社会情勢を加味した専門性を確保するため、職員の自己研鑽を推進する。</p>	<p><b>【地域活動の企画運営に携わった若者数】</b> 10,000名以上</p> <p><b>【登録若者団体数】</b> 170団体</p> <p><b>【利用証の発行を受けた若者数】</b> 12,500名以上</p> <p><b>【若者登録者の延べ利用数】</b> 170,000名以上</p> <p><b>【自立支援の新規相談登録者数】</b> 440名以上</p> <p><b>【進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数】</b> 220名以上</p>
<p><b>【達成状況】</b></p> <p><b>【地域活動等事業】</b></p> <p>①情報誌「えん」3号の発行、SNSのFacebookを全施設で開設し、既存のブログと連動させた。</p> <p>②ミニワークショップを活用し、各施設の特色を生かした自立支援を展開した。高校生の利用が伸びた。</p> <p>③市民自治推進課からの受託事業を活用し、まちづくりセンターとの共同により社会参加促進事業をより進めることができた。3地域から6地域へ拡大。</p> <p><b>【施設運営等事業】</b></p> <p>①総合センターの移転オープンに伴い、整理整頓や美化に努め雰囲気作りを大事にロビーづくりを行った。温度管理を徹底することで節電等を行った。</p> <p>②ロビーのレイアウトや事業など若者利用者の意見を取り入れながら展開した。</p> <p>③上段①と同じ。</p> <p>④定期的に施設を巡回するなかで各職員とコミュニケーションを図るとともに、事業調整会議によって業務負担の軽減を図った。</p> <p>⑤CDA講習会への参加(2名)、法政大学平塚教授等研究チームに参加(3名派遣)、職員研修(6回)等によりスキルアップを図った。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <p><b>【地域活動の企画運営に携わった若者の数】</b> 11,047名</p> <p><b>【登録若者団体数】</b> 144団体</p> <p><b>【利用証の発行を受けた若者数】</b> 12,859名</p> <p><b>【若者登録者の延べ利用数】</b> 186,242名</p> <p><b>【自立支援の新規相談登録者数】</b> 438名</p> <p><b>【進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数】</b> 251名</p>

## 公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b></p> <p>■事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティア指導者養成事業</li> <li>②子どもの発達段階に応じた効果的な事業の実施</li> <li>③施設の利用促進</li> </ul> <p>■管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①歴史ある施設の計画的な維持管理</li> <li>②環境保護・保全のために循環型の施設運営を行う</li> <li>③活動フィールドの整備・拡大</li> </ul> <p><b>【達成状況】</b></p> <p><b>【事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生団体へのアプローチにより、キャンプ事業にボランティアスタッフとして入っていただき実施し、新たな展開を検証できた。</li> <li>・系統立てた発達段階に分類した事業実施の基盤づくりを行った。</li> <li>・野外教育団体や社会教育団体への招致を重点的に行ったが、結果として大幅な人数増加には結びつかなかった。次年度は活動を提案できる新たなツールを作成し新規利用団体を確保していきたい。</li> </ul> <p><b>【管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細目の施設点検や修繕、環境整備を行い、維持管理に努めた。今後は利用者へ環境負荷の軽減を啓蒙するなど、重点を絞ったアプローチを行っていきたい。</li> </ul>	<p><b>【施設利用収益】</b></p> <p>10%増加 2,750千円</p>
	<p><b>【達成状況】</b></p> <p><b>【施設利用料金】</b></p> <p>2,354千円 (▲395千円) 達成率 85.6%</p>



## 公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<b>【施設運営等事業】</b> ①施設内及び園内の安全管理の徹底を図る。 (倒木処理、作業後の農機具物品撤収確認、危険昆虫・動物等野生生物からの防除等) ②施設PRのための広報及び施設内情報提供の充実 ③学習館入館(観覧)及び貸室業務の拡大 ④人的資源を活用し工夫した事業内容と冬期来園者増に向けての事業展開 (室内・屋外を織り交ぜた事業内容の工夫と冬期のフィールド活用)	①学習館入館料(観覧)収受の開始 2,800人 280,000円 [@100×2,800人] ②貸室利用 (利用料金等)の20%増 約30,000円 ③事業参加人数の 20%増 約1,300人
<b>【地域活動等事業】</b> ①地域社会の自然環境を理解する事業の実施 ②主に北方自然教育園の自然素材を活用した提供事業の実施 ③これまでの事業活動等を活用した市民活動支援	
<b>【達成状況】</b> <b>【施設運営等事業】</b> ・園内の安全に配慮し、倒木処理、危険昆虫駆除等の対応。昨年冬期にシカの食害にあったリンゴ果樹木について冬期の電気柵防除を実施。 ・市内小学校に全配布される当財団広報紙「あそぼ」への継続掲載。 ・学習館内の壁面を利用した生物等の情報提供実施。 ・家族と大人を対象とした三世代事業の実施。冬期ロビー工作事業の実施。 <b>【地域活動等事業】</b> ・地域社会、町内会と協調した生き物フォーラム実施。 ・主に北方自然教育園の自然素材を活用し、スタッフ及び市民ボランティアによるリースづくり等を実施した。 ・市民ボランティアの通年活動の実施。	<b>【達成状況】</b> <b>①学習館入館料(観覧)初年度収受 1,478人 147,800円 [@100×1,478人]</b> <b>②貸室利用 30,500円</b> <b>③事業参加人数 1,177人</b>



## 公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1

目的外での施設貸与事業

重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①野外活動の支援</li> <li>②イベント及びプログラム企画内容の充実</li> <li>③事業PR活動の推進</li> <li>④地域活動等事業の充実</li> </ul> <p><b>【施設運営事業等事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①貸室事業におけるサービス質的向上</li> <li>②広報業務の強化プロモーションの実施</li> <li>③新たな運営管理体制の検討</li> <li>④能力・専門性を高めるための研修強化</li> </ul>	<p>〈ホームページ直帰率〉 30%</p> <p>〈事業参加者の新規参加率の向上〉 60%</p>
<p><b>【達成状況】</b></p> <p>定山渓の豊かな自然環境を最大限に生かすため、季節ごとの複数開催事業を推進した。養成事業修了生が新規登録ボランティアとして各種事業に参加するなど、市民との協働による事業運営を行なった。広報活動においてはホームページ内容の充実を図ることを目的に、ソーシャルネットワークサービス（SNS）を活用した施設案内や事業報告を行い、利用者のニーズや目的に合わせた情報提供を行うことが可能となった。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <p>〈ホームページ直帰率〉 40.4%</p> <p>〈事業参加者の新規参加率の向上〉 51.6%</p>



## 公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1

目的外での施設貸与事業

重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b> 学校教育及び社会教育の課題解決に寄与する事業、宿泊学習や利用団体の活動プログラムに反映されるプログラム開発を含めた形で事業を実施、その効果を広く周知する。他関係企業やN P Oとの連携協力を深め、事業の充実及び管理運営の充実を図る。</p> <p><b>【施設運営等事業】</b> 安全安心な活動のための施設管理体制を、これまでの運営からさらに見直し向上を図る。計画的な施設運営による、経費の削減に努め、中・長期的な維持管理計画の策定を行う。</p>	<p><b>【利用人数】</b> 82,000人</p> <p><b>【利用満足度】</b> 80%</p>
<p><b>【達成状況】</b> 9月に公園内にヒグマの侵入が見られ、以後、札幌市教育委員会の指示に従い9/24～12/21までは臨時休館、12/22～翌年3月31日までは館内だけの活動に制限された。利用団体には日程の変更や他施設への会場変更等の緊急の対応や、利用を断らなければならない状況も生じた。そのような状況下ではあったが、主催事業では施設を離れ、市内をフィールドとした事業展開に発展することができた。平成26年度中に野生動物に関するプログラム開発を行い、特色あるプログラムの提供につなげたい。また緊急時の対応や野生動物に対する理解など施設管理体制の強化につながるきっかけとなつた。</p>	<p><b>【達成状況】</b> 【利用人数】 61,565人</p> <p><b>【利用満足度】</b> 91.8%</p>



## 公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

他1

目的外での施設貸与事業

重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b>            ①市民要望を取り入れた利便性の向上</p> <p><b>【施設運営等事業】</b>            ①施設管理における省エネルギー化            ②施設管理事務の効率化            ③事業成果の広報強化            ④関連する団体及び機関との連携</p>	①年間施設利用者 690,000 人 ②キャリア形成講座「役立つスキルを学べた参加者」受講者数の 70% ③市民活動団体等新規登録数 年間目標 200 団体 ④環境プラザキッズページアクセス数 20%増加 ⑤環境プラザ施設見学利用件数 20%増
<p><b>【達成状況】</b>  <p><b>【地域活動等事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要望の多い当日貸しのロッカーの設置や、無線LANルーターの貸出などを行い利便性の向上に努めることができた。</li> </ul> <p><b>【施設運営等事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>館内の照明消灯やエスカレーター停止などを実施し、エネルギー使用量原油換算の前年度比 98%の節減となった。</li> <li>統計や経理のシステムの導入を図り、効率化に努めた。</li> <li>各施設の事業報告書冊子を作成し事業成果の周知を行った。H P、ブログ、フェイスブック、ツイッターを活用した広報活動とタイムリーな活動報告を実施した。</li> <li>活動支援団体PR冊子の作成や情報交換会を実施。また環境関連中間支援施設・北海道など関連機関との事業を実施し、連携を深めた。</li> </ul> </p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <p><b>【地域活動等事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間施設利用者            678,786 人 (▲11,214 人)</li> <li>キャリア形成講座「役だつスキルを学べた参加者」受講者数の 98.9%</li> <li>市民活動団体等新規登録数            147 団体 (▲53 団体)</li> <li>環境プラザキッズページアクセス数            202%増 12,733 件            (前年 6,303 件)</li> <li>環境プラザ施設見学利用件数            (総合的な学習含む)            8%減少            57 件 (前年 62 件)</li> </ul>



他 1

目的外での施設貸与事業

重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b></p> <p>①市民まちづくり活動団体の活動拠点を提供し、日常的な関わりや連携事業を通じて、成長の加速を促す。</p> <p>②地域課題を把握し、地域の一員として必要とされる施設を目指します。</p> <p>③元気ジョブや入居団体と連携し、子どもや子育て中の保護者、社会に適合しようと悩む若者、障がいのある方や高齢者などの市民が、安心して地域活動へ参画できるよう積極的な情報提供や機会提供し、生き生きとしたまちづくりの拠点を目指す。</p>	<p>①活動スペース 入居団体 17 団体</p> <p>②貸室利用登録団体 30 団体</p> <p>③施設利用人数 80,000 人以上</p> <p>④貸室稼働率 40%</p>
<p><b>【達成状況】</b></p> <p>市民活動団体との事業共催やロビー事業等の積極実施により、連携や交流を深めるための機会提供を行うことができた。特に、人材育成事業については市民活動団体と連携し次世代の人材育成のための養成事業等を重点実施し、各団体において中核となる人材の育成などの成果を上げることができた。また、市民活動団体だけではなく地域の方と活動を共にすることにより、地域課題の共有を図り、市民の方が安心して活動参加していくための環境づくりと情報提供を行うことができた。</p> <p>貸室稼働率については数値目標の 1/2 以下であることから、利用拡大が今後の課題である。</p>	<p><b>【達成状況】</b></p> <p>①活動スペース 入居団体 17 団体</p> <p>②貸室利用登録団体 新規 29 団体</p> <p>③施設利用人数 76,526 人 (▲3,474 人)</p> <p>④貸室稼働率 19.6% (▲20.4%)</p>



重点目標	数値目標
<p><b>【地域活動等事業】</b></p> <p>■事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新規事業の掘り起こし（当協会の事業概要の積極PR）</li> <li>②各種媒体を活用した当協会の各種事業情報（告知・報告）の発信</li> <li>③JICEとの連携体制の強化</li> </ul> <p>■管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①各課との横断的連携体制構築（事業概要の情報開示、情報交換）</li> <li>②収支バランスと徹底したコスト削減</li> <li>③備品等の適正管理とメンテナンスの徹底</li> <li>④職員の「ワークライフバランス」</li> </ul>	<p><b>【事業収益総額】</b> 4,400万円以上 <b>【各事業実収益率】</b> 35%以上の確保 (約1,500万円以上)</p>
<p><b>【達成状況】</b></p> <p>各種行政機関、または団体・企業に対して当協会自主事業部門の周知・宣伝活動を行うことで、新規事業の獲得、業務内容の発展に結びついたが、今後もより積極的に各種チャンネルを活用した周知・宣伝活動を展開していくことで事業拡大を図っていきたい。また「各課との横断的連携体制構築」については、当協会が指定管理を行っている各種施設および職員の専門性を十分活かせるよう、今後も情報の共有化を重視していくべきであると考える。「ワークライフバランス」の尊重については、各職員のコンディションの把握と併せ「よりよく働ける環境づくり」を今後も全職員で構築することで事業推進に繋げていきたい。</p>	<p><b>【達成状況】</b> <b>【事業収益総額】</b> 4,800万円 (109%)</p>



## 5. 各課（各施設）の事業実施報告

### （1）こども育成課【指定管理事業：児童会館 104 館】

【受託業務：ミニ児童会館 86 館／放課後こども館 4 館】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
青少年活動支援 事業	「子育てサロン」  遊びや他者との交流をとおして安心して育児ができる関係を築く、乳幼児と保護者に対する子育て支援事業。常設サロンが11館増え、保護者とともにつくり上げるサロンを目指して活動を行った。	実施館数 99館 5182回 248,780名
	「放課後児童クラブ事業」  放課後留守家庭の子どもたちの「育ち」を支援。保護者と職員の連携を深めるため定期的に保護者懇談会を開催。	児童クラブ在籍数 11,046名 (H26年3月末現在)
	「障がいのある児童の受け入れ」  保護者、関係機関と連携し、地域の子育ての拠点として、障がいのある児童と健常児が共に育ち合う環境づくりに努めた。障がいのある児童の放課後の居場所として、社会的に必要とされていることが感じられる。	656名
	「中・高校生夜間利用等運営事業」  中・高校生の居場所づくりとして「ふり～たいむ」を実施。今年度初めて実施した『中・高校生のための情報誌作りワーキングショップ』では、中・高校生が同世代に向けたメッセージを込めて作成。自分たちが伝えたいことや日常で感じていることを言葉にしながら、自分を振り返る機会ともなった。完成した情報誌は札幌市内のみならず全国の児童館へ発信した。	13,359回 77,106名
体験機会創出 事業	「講習会・発表会」  子どもたちの意欲、達成感を引き出すことを目的とし、講習会やその成果を発表する機会を設けた。その他、活動記録展なども実施した。	767回 21,591名
	「観賞会」  子どもたちの情操を育む事業として人形劇や演劇の鑑賞、読み聞かせ等の事業を実施。	984回 41,785名
	「社会奉仕活動」「環境活動」  地域社会の一員としての自覚を持ち、人とのつながりの大切さを学ぶ。平成25年度は、復興支援の気持ちも込めて、福島県の施設へ車いす2台贈呈し、感謝状をいただいた。 (ゴミ拾い等の清掃活動、施設訪問、共同募金、小さな親切運動等)	168回 3,168名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
事業区分 事業	「交流活動」  同世代、世代間交流、国際交流等からさまざまな人とかかわることで自分自身を高める機会を提供。各区で工夫を凝らしておこなっている合同行事は、区内の児童会館全館での実施の他に、近隣館での交流事業など、子どもたち同士の異年齢交流を目的に実施する事業も増え、仲間作り、コミュニケーションの促進に役立っている。	6,617回 289,033名
	「季節事業・パーティー」  日本の四季の移り変わりや自然の風土を感じる心を育む事業。(節分、ひな祭り、七夕、花火大会、雪まつりなど)	1,164回 66,316名
	「野外・自然体験活動」  自然とふれあいさまざまな体験活動の中で生きる知恵を育む。(キャンプ、畑づくり、炊事遠足、登山、ハイキングなど)	746名 15,336名
	「伝統芸能活動」  日本の伝統文化に対する興味・関心を引き出し、より良い文化を受け継いでいく心を育む。(伝承あそびや生け花、茶道教室、将棋教室、書道、太鼓などの体験活動など)	2,180回 31,345名
	「体力増進・スポーツ」  スポーツをとおして健康の増進を図り、人とかかわる上でのルールを身につける。(鬼ごっこ、かけっこなどの日常遊びの他、ドッジボール、なわとび、一輪車等会館行事にも取り入れた)	2,642回 59,500名
	「読み聞かせ」  読み聞かせ事業や子育てサロン、日常活動等において読み聞かせ事業を実施。	2,807回 72,178名
	「その他」  「創作活動」「学習活動」「リーダー育成」等	7,220回 150,816名
人材育成事業	「子ども運営委員会」  子どもたちの意見や要望を反映させた会館運営を目指し、各会館に子ども運営委員会を設置。子どもたちの自主性や創造性を育て、主体的な活動の充実を図る。子ども運営委員会活動の集大成として、札幌ファクトリーでイベントを実施。	9,889回 84,044名
施設管理運営事業	利用者が平等に児童会館を利用できるように遊びの時間やルールを子どもたちと一緒に考え工夫した。また、館内掲示やおたより、ホームページ等によるわかりやすい広報活動に努めた。占用利用についても、利用者が平等に利用できるように施設利用に関する説明や案内、情報提供を適切にわかりやすく行った。	

### 【利用状况】

(10)

区分	開館日数 及び回数 (延べ数)	人 数	利 用 人 数 の 内 数					
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	一般
児童会館	30,862	2,205,377	212,026	1,148,741	356,170	110,276	65,021	313,143
ミニ児童会館	23,354	1,029,749	5,747	800,283	205,010	1,041	526	17,142
占用利用	12,737	186,863	9,993	36,299	41,790	19,645	5,031	74,105
総 利 用		3,421,989	227,766	1,985,323	602,970	130,962	70,578	404,390

総利用人数(前年度3,303,995人・前年比 103.6%)

### ■児童クラブ在籍数

(人)

区分	平成25年4月末日現在の在籍数							延べ 入会	延べ 退会	平成26年3月末日現在の在籍数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
在籍人数	2,358	2,133	1,622	922	290	72	7,397	8,760	1,428	2,623	2,134	1,472	803	231	71	7,334

4月末日現在の在籍数の比較(前年度9,899人・前年比113.4%)

#### ■学校からの直接来館届出数

(1)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
クラブ員の兄姉	0	1	16	106	142	90	355
特別支援学級等	6	6	7	4	4	5	152
特認校	36	43	24	25	12	12	32
その他	1	1	0	1	2	0	5
計	43	51	47	136	160	107	544

(前年度574人・前年比94.7%)

### ■ 障がい児受け入れ数

(人) 内訳

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	クラブ	直来
普通学級	61	92	76	56	39	17	341	261	164
特別支援学級	61	58	50	50	31	55	305	141	8
特別支援学校	1	1	7	1	0	0	10	2	252
計	123	151	133	107	70	72	656	404	424

(前年度人592・前年比110.8%)



(2) こども劇場課【指定管理事業：こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座】

①やまびこ座

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業 (一般対象)	「人形浄瑠璃講習会」 18歳以上を対象の人形浄瑠璃講習会。人形浄瑠璃の特殊な操作方法である「三人遣い」を学ぶ。あしり座との共催事業。	6/4～1/26 271名
	「義太夫講習会（一般クラス）」 18歳以上を対象に人形浄瑠璃の義太夫・三味線の講習会を実施。	6/5～1/26 424名
	「東区市民劇団育成事業」 主に東区在住の一般市民から公募し演劇ワークショップを実施。市民劇団「オニオン座」を立ち上げ、その成果発表の公演を実施。	6/25～11/6 469名
	指導事業「札幌国際大学人形劇ワークショップ」 主に市内で活躍するアマチュア人形劇団と連携し、人形劇の特性や子どもにとっての魅力を実技をとおして学ぶ場として実施。	4/12 76名
	「やまびこ座指導事業『砂川人形劇創作体験プログラム』」 子どもの表現活動の指導者を砂川市地域交流センターゆう（NPO法人ゆう）にやまびこ座より指導者を派遣。団体と劇場の協働により人形劇講座を実施。劇団育成を図った。	10/2～3/9 207名
人材育成事業 (子ども対象)	「やまびこ座遊劇舎」 小学3年生～6年生対象、劇あそびや表現あそびなどを通して、舞台表現、演劇表現などを体験。	5/24～12/15 792名
	「劇☆やまびこ座YOUTH」 中学生・高校生を対象とし、劇づくりを通して表現する喜びや自主性、異年齢間の交流を目的とした演劇活動を実施。	6/8～2/2 615名
	「こども舞台体験プログラム『ふれアート』」 日本の伝統や心に触れる機会を提供するとともに、地元劇場とそこで取り組んでいる舞台芸術に親しみを持ってもらうために実施。（人形浄瑠璃三人遣い体験、義太夫・三味線体験、鳴物体験、舞台裏方体験）	6/8～1/19 204名
	①「ざ・にんぎょうじょうるりユースクラス」（中高生の人形浄瑠璃講習会）	①6/4～1/26 345名
	②「義太夫講習会」（中高生クラス）	②6/5～1/26 25名
体験機会創出事業	「元町北小アウトリーチ事業」 子どもの表現活動の指導者として、インストラクターを地域の小学校に派遣し人形劇講座を実施、劇団育成を図った。	6/4～12/11 1,489名
	「読み語りの会」 図書コーナーの活用、幼児の利用促進を目的にボランティアグループによる協力で、平日に絵本、紙芝居などの読み語りを実施。	通年 807名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
地域連携事業	「まこ×まち 2014 人形劇ワークショップ」  札幌市が主催となり旧真駒内緑小学校を会場に子どもの体験活動の場を周知すること、劇場の根幹である人材育成のひとつとして育成劇団の活動の場の提供を目的として実施。	3/8 44名
	「こども人形舞台祭典 2013 in ISHIKARI」  石狩管内の関係機関とともに実施。北広島・恵庭市では「こども人形劇舞台祭典 2013」を実施し、アマチュア人形劇団、専門人形劇団の連続公演及びワークショップを行った。また、江別市、恵庭市へは、人形劇団の派遣事業（人形劇キャラバン）を実施。	1/25～3/27 1,980名
	①「2013 やまびこ座夏まつり」(4,211名) ②「人形劇出張公演および地元上演団体の紹介」(850名) ③「人形劇派遣事業」(428名)	①8/10～11 ②9/14～9/24 ③6/18～23
	①「やまびこ座 25 周年記念公演」②「加藤ひろしメモリアル 13」  開館 25 周年を記念し、普段あまり観ることのできない道内外の専門劇団を招待し特別公演を実施。また、今年はやまびこ座・こぐま座の初代館長である故加藤博氏の 13 回忌にあたるため縁の深い人形劇団が参加しメモリアル公演を実施した。	①7/26～8/8 2,253名 ②7/6,7/7 243名
公演事業	「第 42 回札幌人形劇祭」  人形劇の質的向上をめざし、道内で活動している人形劇団によるワークショップとコンクール形式の連続公演の実施。経験豊かな審査員と観客によって審査が実施された。大人部門（初心者の部・一般の部）・こども部門合わせて、16 劇団が参加。	11/23～24 参加者 132名 入場者 441名 10/13～14 205名
	「やまびこ座プロデュース公演」  劇場主催講座「東区市民劇団」「遊劇舎」の参加者と公募の新人によるプロデュース児童劇の第 6 回公演を制作・上演。	3/21～23 参加者 720名 入場者 547名
	①「やまびこ座夏まつり・連続公演」 ②「座・競演 vol.4」（全国の伝統人形芝居一座による競演） ③「東区市民劇団育成事業発表公演」 ④「第 21 期やまびこ座遊劇舎発表会」 ⑤「ざ・にんぎょうじょうるりユースクラス・義太夫講習会ユースクラス発表会」 ⑥「人形浄瑠璃講習会・義太夫講習会発表会」 ⑦「第 11 期☆やまびこ座 YOUTH 発表会」 ⑧「人形浄瑠璃 2014 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演」 ⑨「人形劇フェスティバル 2014 さっぽろ冬の祭典」 ⑩「春休み特別公演」	①8/10～11 605名 ②10/13～14 205名 ③11/3～4 200名 ④12/15 207名 ⑤1/25 40名 ⑥1/26 128名 ⑦2/2 202名 ⑧2/8～9 399名 ⑨2/15～23 1,751名 ⑩3/25～26 201名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
その他の事業	<p>「人形劇公演観劇スタンプラリー」</p> <p>スタンプカードを発行し、観劇ごとにスタンプを押印、回数によって指人形プレゼントの特典がある。観客者の新規開拓、リピーターの増加をねらい、人形劇団と協働しながら企画実践を図り、上演活動の活性化につなげる。</p>	通年 3,255名
	<p>「被災地支援活動」</p> <p>①「ゴールデンウィーク特別企画『東日本大震災チャリティー公演』」</p> <p>地元人形劇団などの協力を得て、チャリティー公演を開催。人形劇、大道芸等連続公演のほか、工作会・昔遊びコーナーを実施。入場料収益は被災地支援活動に役立てる。</p> <p>②「福島県への継続文化支援活動」</p> <p>放射能の影響で屋外活動が制限されている福島県において、幼稚園、保育園、公共施設などを中心に人形劇等の公演を実施。</p>	①5/3～5 369名 ②8/21～3/3 3,212名
	<p>①「企画展示」(2,253名) ※人形・パネルの展示</p> <p>②「利用者懇談会」(34名)</p>	①7/26～8/8 ②12/10

## ②こぐま座

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業 (一般対象)	<p>「初心者のための人形劇講座」</p> <p>人形劇の楽しさを知つてもらうことにより底辺の拡大を図り、人形劇人の育成、グループ活動を推進し、こぐま座、やまびこ座両劇場の公演活動の活性化を図る。</p>	4/25～7/21 252名
	<p>「経験者のための人形劇講座」</p> <p>経験者を対象にした人形劇講座。既存の人形劇団のスキルアップ、札幌の人形劇の活性化を目的とし、人形劇の制作、公演の機会を提供することでグループ活動を支援。</p>	5/14～11/1 462名
	<p>「腹話術初心者入門講座」</p> <p>18歳以上の一般コース。腹話術の基本を学び、興味へのきっかけとした入門講座。腹話術愛好会「腹笑会」との共催事業。</p>	10/30,31,11/1 29名
	<p>知里幸恵生誕110周年・『アイヌ神謡集』刊行90周年 NHK“さわやか自然百景”放送15周年記念「銀のしづく～大地が謡ったものがたり～」</p> <p>NHK札幌放送局との共催事業としてアイヌ神謡を題材とした人形劇、朗読の制作、上演を行つた。北海道の素晴らしい歴史・文化のひとつであるアイヌ文化を人形劇等を通して将来を担う子どもたちに伝えた。</p>	10/31～12/22 357名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業 (子ども対象)	「こぐま座こども人形劇団」 市内の小学校3年生から6年生を対象に、人形劇を通して、様々な表現活動を展開。子どもたちならではの作品づくりを行った。	5/22～3/16 616名
	「こぐま座ペペットユーススクール」 中高生のための人形劇スクール。中高生の受け入れの場として開講し、中高生劇団の育成を目指していく。	6/11～3/23 244名
	①「人形芝居燕屋こども人形劇団向けワークショップ」 ②「夏休み特別ワークショップ影絵で遊ぼう「ジャワ風」人形と影絵芝居づくり」	①1/26 14名 ②8/9 42名
公演事業	「やまびこ座 25周年記念特別公演とらまる人形劇団公演」 やまびこ座開館25周年に合わせ、普段あまり見ることができない道外の専門劇団を招聘し特別公演を実施。	8/1,8/2 360名
	①「こぐま座冬の特別公演人形芝居燕屋公演」(長野県:専門劇団) ②「こぐま座春の特別公演人形劇団とんと公演」(福井:専門劇団) こども人形劇舞台祭典に合わせ、道外のプロの人形劇団による特別公演を実施。	①1/26 99名 ②3/21 94名
	①「初心者のための人形劇講座修了記念公演」 ②「13!スクランブルシアター」(経験者のための人形劇講座、ペペットユーススクール、初心者のための人形劇講座、合同発表公演) 経験者のための人形劇講座、初心者のための人形劇講座、ペペットユーススクールの発表公演。	①7/21 101名 ②10/26～10/27 200名
	「幼児のためのちいさな劇場」 就園前の2歳以上を対象にした平日公演。上演時間を45分程度に短くし、小さな子でも楽しめる内容を上演。	4/25～2/27 812名
	①「ゴールデンウィーク特別企画『東日本大震災チャリティー公演』こどもの日ペペットフェスティバル」 ②平成25年度やまびこ座・こぐま座プロデュース人形劇 「銀のしずく～大地が譜ったものがたり～」 ③「こぐま座こども人形劇団発表会」	①5/3～5/5 268名 ②12/21、12/22 593名 ③3/16 100名
	「中島児童会館・こぐま座開館記念祭～かもくま祭～」 中島児童会館との協働事業。7月の開館記念日を記念し、普段両施設を利用している団体や個人、ボランティアの協力のもと、市民を対象に2施設の特徴を活かした祭りを開催した。	6/30 717名
中島児童 会館協働事業	①「あそびの劇場《冬の陣》」※ごっこあそびとウォークラリー ②「中島児童会館・こぐま座歴史探訪」※資料、物品、人形展示等。 ③「初心者のための読み語り入門講座」	①1/13 25名 ②6/30～7/25 449名 ③11/1～12/12 104名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
地域、他団体との交流事業	「やまびこ座・こぐま座プロデュース人形劇巡回公演」 アイヌの口承文芸を子どもたちにわかりやすく伝えるアイヌ人形劇を NHK 札幌放送局と共同で制作し、公演を行う。 (稽古、打ち合わせ)	8/17,8/18 21名
	「人形劇パレード」 大通で実施している大道芸パフォーマーのお祭り「だいどんでん」にて、人形劇を PR すべく人形劇パレードを実施。人形劇団と協力し、人形劇・劇場の PR の場とする。	8/31 50名
その他事業	①「人形劇公演観劇スタンプラリー」 ②「こぐま座利用者懇談会」	①通年 4,372名 ②3/13 17名

### ■こどもの劇場「やまびこ座」

#### 【利用状況】

区分	件数(件)	人数(人)	室利用総人数 46,665
ホール	682	27,916	
会議室	445	2,551	
研修室	560	8,353	
美術工作室	629	7,845	
ロビー・展示室・図書コーナー	—	8,323	
研修・見学	—	1,319	
総利用	2,316	56,307	

利用件数 (前年度 2,222件・前年比 104.2%)

利用人数 (前年度 55,565人・前年比 101.3%)

#### 【ホール利用内訳】

観劇者数	無料(人)	1,676
	招待(人)	957
	有料(人)	14,750
	合計(人) ・・・ (a)	17,383
出演者の数(含むリハーサル)(人)	・・・ (b)	10,533
出演者観劇者総数(人)	・・・ (a+b)	27,916
上演回数(回)		203
上演日数(日)		134
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		164
上演1回あたりの観劇者数(人)		86

### ■こども人形劇場「こぐま座」

#### 【利用状況 (ホール利用内訳)】

(人)

観劇者数	無料(人)	1,131
	招待(人)	506
	有料(人)	8,435
	合計(人) ・・・ (a)	10,072
出演者の数(含むリハーサル)	・・・ (b)	4,629
出演者観劇者総数	・・・ (a+b)	14,701
研修・見学	・・・ (c)	1,134
利用者総数	・・・ (a+b+c)	15,835
上演回数(回)		212
上演日数(日)		136
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		225
上演1回あたりの観劇者数(人)		47.5

利用人数 (前年度 16,075人・前年比 98.5%)

### (3) 企画事業課【指定管理事業：若者支援施設 5 館】

#### ①若者支援総合センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
自立支援事業 体験機会創出事業	<p>「脱自分チャレンジ」</p> <p>これまでの自分を変えたい、という引きこもり等の若者を対象に、「お寺での座禅」「職場見学」「野外活動体験」「滝野自然学園での合宿」「雪まつりつどーむ会場の雪像制作体験(有償訓練)」「一人暮らし体験」「ひきこもり経験のあるお笑い芸人の講演と座談会」などのプログラムを通じて自信を回復し、自立を目指して一歩を踏み出すための事業を実施。</p>	12月～3月 20名 (講演会は80名)
受託事業	<p>「地域若者サポートステーション」(厚生労働省受託事業)</p> <p>15歳～39歳までの若年無業者の就労支援を目的とし、H18年度より当財団が事業を受託し、8年が経過。サポステ事業と札幌市若者支援施設での自立支援事業を組み合わせ、総合的な自立支援の取り組みが実現している。</p> <p>(総合相談事業、他機関との連携・ネットワーク構築、各種セミナー等の実施、学校連携事業等)</p>	<p>相談件数 5,418件</p> <p>延べ来所者数 10,326名</p> <p>新規受付カード数 537名</p> <p>就労等進路決定者数 255名</p>

#### ②アカシア若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進事業	<p>「アカシア紅白歌合戦 2013」</p> <p>武蔵女子短期大学「ボランティア組織委員会」メンバーを中心に企画運営し、当施設に隣接する北光第4・5分区町内会の諸先輩を招いて実施する社会参画事業。事前に地域の方々と事業概要自体の見直しを実施。若者たちが、年代を超えたおもてなしや一緒に楽しむこと、自分たちの年代を身近に感じていただくにはどのような会にしたらを検討し、1日のプログラムという形に表して実施した。</p>	<p>準備:11～12月 (全5回)</p> <p>当日:12/15</p> <p>延べ 80名</p>
交流促進事業	<p>「第34回鉄西地区連合町内会夏まつり」</p> <p>鉄西地区連合町内会には、構成メンバーの高齢化に伴い、学生を中心とした「鉄西まちづくり学生推進委員会」が組織されており、当施設を利用する2団体が活躍している。貸室事業で培った関係性を活かし、若者たちを中心、地域、小学校、大学、近隣の企業で働く勤労者等、多様な市民が集まる憩いの場を提供している。都市部(中心部)で、当該事業の規模でまつりが継続されていることは極めて稀であり、若者のまちづくりへの参加が鍵となる事例のひとつである。</p>	<p>準備:11～12月 (全5回)</p> <p>当日:7/18～19</p> <p>延べ 2,584名</p>

### ③ポプラ若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進 事業	「白石 MAP プロジェクト」  ポプラ若者活動センター周辺の飲食店や企業など、若者が取材し、広報誌「しろっぷ」(白石と MAP を掛け合わせた名称)を企画、編集し作成した。地域周辺、また白石区役所、各若者支援施設へ配布した。  反響を呼び、STV ラジオ出演、テレビ取材対応等、メディアに露出した。	12/25～3/31 10名
社会参加促進 事業	「第65回さっぽろ雪まつり つどーむ会場・若者実行委員会」  さっぽろ雪まつりつどーむ会場に訪れる市民の方々を盛り上げるため、若者団体9団体が一堂に会し、企画と当日運営を行った。当日の市民サービスボランティア効果は勿論、若者同士の交流をはじめ社会に参加する面白さと意識向上が得られた。	10/30～2/25 510名

### ④豊平若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	「若者舞台芸術祭 2014『Sapporo MixArt』」  舞台芸術に関わる幅広い層の若者が複数のユニットを組み、合同で芸術祭を行なった。舞台のテーマや構成等を出演者やスタッフと交流しながら決定し、さまざまなジャンルの若者の発表の機会を創出した。	2/8,2/9 参加者:168名 来場者:446名
交流促進事業	「中・高生向けイベント『とよひらっぴーフェスティバル 2013』」  豊平区内の児童会館との共催事業。児童会館の「ふりーたいむ」の利用者と若者活動センターの利用者、職員で実行委員会を結成しバスケットボール大会やライブ発表、カフェ等を実施。企画構成、当日の運営までを実行委員会で行った。参加者にとって一過性のイベントとならないよう事前および事後にバスケットボールの合同練習会も行なった。	3/16 209名



⑤宮の沢若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	「合同文化芸術祭 Youth Art 2013 芸術屋台村」 文化芸術に興味のある若者(個人及び団体)の発表の場の提供と地域、世代間交流の促進を図る。絵画、ハンドメイド作品、写真などの店舗の設置やギャラリーコーナー、ステージコーナーの実施。また、児童会館合同行事を同時開催し、子どもたちとの世代間交流を図った。	9/15 3,894名
社会参加促進事業	「生涯学習センターちえりあ祭 宮の沢若者活動センター祭」 生涯学習センター4施設による合同事業。今年度は、西区体育館、農試公園の協力も得て実施した。また、ボランティアとして参加した若者の人数も増加し、活気ある祭りとなり、若者にとっても有意義な活動へつながった。宮の沢で活動を支援している青年団体協議会の活動の場としても定着している。	8/24～8/25 9,120名

■若者支援施設利用状況

内訳	総合	アカシア	豊平	宮の沢	ポプラ	施設合計
自立支援事業	14,671	0	0	0	0	14,671
若者	10,705	0	0	0	0	10,705
一般	3,966	0	0	0	0	3,966
交流促進事業	947	1,977	2,367	5,072	551	10,914
若者	871	1,824	2,158	4,200	472	9,525
一般	76	153	209	872	79	1,389
社会参加事業	30	5,277	1,927	10,626	2,142	20,002
若者	27	3,141	1,768	4,134	1,977	11,047
一般	3	2,136	159	6,492	165	8,955
口obi事業	4,639	1,466	1,970	20,043	2,293	30,411
若者	4,070	1,367	1,945	18,889	1,925	28,196
一般	569	99	25	1,154	368	2,215
貸室利用	22,865	45,680	32,446	64,053	8,165	173,209
若者	20,540	38,343	27,675	33,483	6,728	126,769
一般	2,325	7,337	4,771	30,570	1,437	46,440
合計	43,152	54,400	38,710	99,794	13,151	249,207
若者	36,213	44,675	33,546	60,706	11,102	186,242
一般	6,939	9,725	5,164	39,088	2,049	62,965

【各施設前年度比】 [110.2%] [89.7%] [106.5%] [99.2%] [186.2%]

(4) 企画事業課【地域活動等事業：野外活動系事業、自主運営施設：滝野自然学園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「たきの森のようちえん」  2歳から就学前の幼児とその保護者を対象とした自然体験活動を実施。豊かな自然環境の中で子どもたちがのびのびと過ごし、自然と人との関わりをとおし、優しさと生きる強さを育む。	通年 (日帰り 19回) 延べ 817名
	「たきの森のがっこう」  小学生を対象とした自然体験活動プログラム。自然の中での活動をとおし、自然の営みや面白さに触れ、人と自然との密接なかわりを体験的に学ぶ機会となる事業を実施した。	通年 (日帰り 6回、 宿泊 4回) 延べ 302名
	「リトルキャンプ」  自然体験活動プログラムを通し、新しい仲間との出会い・協力・目的達成までの過程で自立心や協調性、社会性をはぐくむ事業。	8月 (2泊3日) 3月 (1泊2日) 127名
	「お父さんと過ごす週末キャンプ」  小学生と父親を対象とした週末宿泊型の自然体験活動。希薄となりがちな親子間のつながりや取り巻く生活環境を見つめ直す機会として実施した。	7月・1月 2期実施 (1泊2日) 27組 59名
職員派遣事業	【その他指導事業】  自然体験活動やレクリエーション、各種指導者の養成、リーダー養成等を目的とした企業や団体の業務依頼のもと、実技指導、講義、講演活動をとおして、よりよい社会作りに寄与する。  (平成 25 年度実績)  ・さぽーとさっぽろ親子レク（札幌市中小企業共済センター） ・自然体験活動セミナー（札幌市教育委員会） ・市民・留学生交流事業（日本国際教育支援協会） ・なかよしキャンプ調査研究業務（札幌市教育委員会）	通年 222名
施設管理運営事業	【滝野自然学園】  将来的な自然学校化を目標に、活用できるプログラムの開発を積極的に実施。廃校校舎の再利用という特色を前面に出し、環境に配慮した形のプログラム提供と管理運営を実践した。	通年 76団体 4,967人

■滝野自然学園利用状況

利用人数

	延べ人数	実人数
合計	4,967	3,850

利用団体数

	団体数	うち主催事業
合計	76	32

前年度比	96.1%	102.6%
------	-------	--------

前年度比	83.5%	78.0%
------	-------	-------

(5) 野外活動課【指定管理事業：北方自然教育園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「農業体験事業」 市立小学校及び中学校の学習活動の一環として、「自然との関わり」「仲間との共同作業」を通して「生きる力」を育むため、各種農業体験を実施した。また、水田体験実施学校を対象に希望校には脱穀、精米作業支援をした。	5～2月 5,641名 (延べ129校)
	「教材用生物の提供」 「教育の向上に資する」の実現に向けて市立幼稚園・学校に教材用生物の提供した。	6月 延べ672校
	「自然体験学習機会の提供」 市民(小中学生を含む家族)を対象とし、地域の特性を題材にした自然・環境教育事業の実施。利用促進を図った。	通年
地域連携事業	「自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流支援事業」 自然体験や展示を通じて市民の交流促進を図った。自然体験に関する市民ボランティアの育成を図り、市民の協力を通じた施設運営を目指した。(自然ふれあい事業、市民ボランティア事業等)	5～3月(152回) 330名
	「自然体験・展示に関する情報収集・提供事業」 南区地域情報提供及び事業(南区シニックバイウェイスタンプレリー)の実施協力。CISE ネットワーク(実物学教育)関連施設として自然環境にかかる事業への実施協力。	随時 標本展示等:7回
学習支援事業	「自然観察・採集等の学習機会の提供」 「自然体験を深める」「教育の向上に資する」の実現に向けて広く市民のために自然に触れる機会を提供した。	5～1月(15回) 508名(140組)
	「自然体験や展示に関する相談業務」 自然体験や生植物関することなどの相談対応を行い、専門的知識が必要な事項については北大博物館、北海道開拓記念館、札幌市博物館活動センターなどの学芸員に相談し引継ぎを図った。	通年随時 相談件数:49件
人材育成事業	「自然観察、飼育栽培に関する研修事業」 教育センターと協働し教職員の研修会の受入れと自然環境研修、農場研修等のコーディネートを行った。また、小学校夏・冬・春期休業期間に飼育している生物等のお世話を通じて生物の様子を知り自然環境への関心を深められるように努めた。	小学校長期休業期間 77名

指導依頼対応	「団体指導事業」 野外活動、自然環境理解、親睦交流活動のテーマに沿った内容について指導依頼に対応。新千歳空港昆虫イベントにおける工作指導及び昆虫生体展示提供。また、期間も長いイベントなため空港利用者及び千歳、苫小牧在住の家族づれが多く、定山渓自然の村も含めた施設利用のプロモーションもあわせて行った。	3/20～4/7 7回
--------	---	----------------

## ■北方自然教育園利用状況

月	施設利用		体験農場		自然体験学習会		自然ふれあい事業		その他事業等(ボランティア等)		事業		合計	
	小計		小計		組数	人数	組数	人数	組数	人数	組数	人数	組数(団体)	人数
	団体	人数	校数	人数										
4	0	226	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	226
5	10	1,226	6	272	24	89	24	85	0	13	48	187	64	1,685
6	31	2,537	28	1,773	10	36	0	0	0	236	10	272	69	4,582
7	22	1,606	16	926	16	59	12	32	0	18	28	109	66	2,641
8	10	992	2	80	30	112	0	0	2	97	32	209	44	1,281
9	17	1,453	15	1,030	12	47	0	0	0	10	12	57	44	2,540
10	33	2,062	26	1,484	0	0	11	18	0	30	11	48	70	3,594
11	32	300	30	65	6	19	0	0	0	16	6	35	68	400
12	7	108	3	6	22	81	0	0	1	25	23	106	33	220
1	2	73	2	4	20	65	4	6	0	13	24	84	28	161
2	6	202	1	1	0	0	5	10	0	43	5	53	12	256
3	2	205	0	0	0	0	4	8	1	9	5	17	7	222
合計	172	10,990	129	5,641	140	508	60	159	4	510	204	1,177	441	17,808

※利用団体(前年度比96.5%) ※利用人数(前年度比90.9%) ※事業参加人数(前年度比106.6%)



(6) 野外活動課【指定管理事業：定山渓自然の村】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>「シルバーくつろぎ倶楽部」 他</p> <p>退職者・主婦層を中心とした高齢者対象事業として実施。全3回の活動ではヨガ体験や竹笛作り、定山渓フットパスなど幅広い内容で実施した。内容によっては、一部事業に専門講師の派遣を依頼し、内容の充実を図った。【全6事業／ファミリーキャンプ、デイキャンプ、キャンプガーデン＆林歩き事業、シルバー自然散策山歩き、シルバーくつろぎ倶楽部、大人のためのプレミアムキャンプ、】</p>	168回 2,123名
	<p>「期間限定プログラム」 他</p> <p>施設利用者に向けて季節感を取り入れた自然体験活動、定期的な野外活動提案と市民同士の相互交流を図ることを目的として実施。活動の中から親子同士だけでなく家族間での交流が生まれ季節の風物詩として発展性を持たせることができる事業となった。【全5事業／キャンプファイヤー、期間限定プログラム、フルーツ・スイーツ倶楽部、親子の自然遊び、自然アート・クッキング交流会】</p>	75回 5,071名
連携事業	<p>「地域連携事業」 他</p> <p>札幌市南区の自然環境により深く触れる機会として「貝化石発掘ツアーア」を実施。応募段階から反響が大きい事業となった。地域の専門家と共に連携をして実施し、参加者からのアンケートからは高い満足度が伺えた事業であった。【全4事業／地域連携事業、企業協賛事業、公的施設連携事業、野外系施設連携事業】</p>	10回 521名
人材育成事業	<p>「ボランティア事業」 他</p> <p>自然愛好家や天文愛好家など専門的な知識を生かし、主に自然体験プログラムの活動援助を通じてボランティア自身の自己実現を支援した。また主催事業において企画・運営の一部を担うなど、活動の幅を広げる内容で実施をした。【全5事業／アクティビティ・ボランティア、天文ガイド・ボランティア、イベント・ボランティア、ボランティア自主研修会、森もりレンジャー】</p>	192回 875名
P R 事業	<p>「自然体験プログラムの出前授業」 他</p> <p>施設スタッフが各施設を訪問し、主に自然をテーマにした遊びや工作などを通して、自然に対する興味や関心を促す内容で行った。【全3事業／自然体験プログラムの出前事業、団体利用・プロモーション、事業プロモーション】</p>	通年

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
プログラム開発 ・研究事業	「広報・情報収集」 他  札幌市及び報道機関への情報提供を行った。また、ホームページ、ブログ等の情報発信のツールを最大限に有効活用し情報提供に努めた。【全4事業／調査・研究事業、広報・情報収集等】	随時
ガイド プログラム事業	【団体向けガイド事業】  利用者の村内での自然体験活動の充実を図ることを目的に実施。自然体験アクティビティや各種レクリエーションなど、利用者の活動目的に合わせた内容でガイドを行った。【全8事業／森の工作会、ハンゴウ体験会、星空観察会、森の観察会、自然遊びコーナー、夜間プログラム、団体向けガイド事業、薪・丸太割り体験会】	330回 6,585名
セルフ プログラム事業	【石窯料理体験】  間伐材などの資材を活用した、アウトドア料理体験として実施。火入れから調理までの一連の流れを体験し、幅広いアウトドア料理体験を提供するプログラムとして好評を得た。  【全9事業／石窯料理体験、わくわくラリー、森の迷路、ドラム缶風呂体験、遊歩道チャレンジクイズ、アドベンチャーエリア&ミュージアムエリア、アウトドア・クッキング、スノープログラム、セルフ はんごう タイム】	462回 4,972名
自主事業	【子ども向けキャンプ】  冬の自然体験活動を通して新たな好奇心を育み仲間との交流・協力することの大切さを実感し、日常生活においてバランスのとれた人間関係を構築できるよう支援を行った。また、他のキャンプ事業との差別化を図るため保護者に事業への積極的な関わりを持ってもらい「野外活動を用いた子育て支援」活動を実施し、成果をあげることができた。【全7事業／シルバートレッキング、シルバーウォーキング、子ども向けキャンプ、地域エコ事業、ボランティア自主企画事業、団体指導事業、森林ガイド育成事業】	31回 955名

## 【平成25年度施設利用状況】

区分	件数(件)	人数(人)
コテージ	2,013	8,122
テントハウス	712	3,367
テントサイト	1,469	4,674
小計	4,194	16,163
見学者	-	390
利用人数合計(小計+見学者)	-	16,553

※利用件数(前年度3,994件・前年度比105%)

利用人数(前年度15,890人・前年度比104.2%)

(7) 野外活動課【指定管理事業：青少年山の家】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「なかよしキャンプ」  幼保小連携事業として、異校種間交流と異年齢交流の価値を持たせ、継続的な活動の中で、児童には自主性や社会性等、5年生には上級生としての自覚や自信等を育成する事業を実施。	通年 4回 (日帰り 3回、宿泊 1回) 297名
	「自然観察・ハイキング」  青少年山の家自然観察ボランティアスタッフと協働で、子どもから大人までを対象とした自然観察事業を実施。広く市民の学ぶ意欲を支援するとともに、自然と親しむ機会を提供。滝野すずらん公園内のハイキングコースを利用して実施。	5月～6月 (日帰り 2回) 99名
	「陶芸体験会」  青少年山の家陶芸ボランティアスタッフとの協働で、子どもから大人までを対象とした陶芸体験事業を実施し、モノ作りの楽しさや素材の持つ特性等への理解を深める機会を提供。	通年 (日帰り 4回) 25名
	「しめ飾り作り体験会」  広く市民を対象とした「しめ飾り作り」の体験活動をとおし、日本の伝統文化への理解を深める機会を提供するとともに、青少年山の家の運営や事業への理解を深めていただく機会。	12月 (日帰り 2回) 47名
人材育成事業	「専門指導者ワークショップ」  野外教育や環境教育について、学校教員や野外教育指導者・青少年指導者等を対象とした講習会を実施し、当施設を中心としたネットワークの拡大をねらう。児童向け環境教育プログラム「Growing Up WILD」の資格取得講習会を実施。	3月（日帰り） 15名
	「インターンシップ・実習者受入れ」  北翔大学より実習生の受入れを行う。4日間の施設実習として、利用者対応や主催事業の準備など幅広く業務を経験いただく。青少年山の家だけではなく、野外活動や野外教育について理解を深めるきっかけとなっている。	6月 1名
	「ボランティアスタッフ養成」  野外活動、自然観察、天文、陶芸等のボランティア活動の支援や活動機会の提供を行う。共催事業の準備など幅広く業務を経験いただく。青少年山の家だけではなく、野外活動や野外教育について理解を深めるきっかけとなっている。	通年

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
団体支援事業	「利用団体支援」 山の家を利用する団体の活動内容がより安全で質の高いものになるように、各種プログラムの事前相談やプログラム調整、当日の直接的な支援活動を行う。	通年
	「利用事前説明会・研修会」 利用予定校の教員を対象に、活動紹介及び事務手続きに関する説明会を実施。その後のプログラム策定に役立つ情報提供を行う。	5月～7月 439名
	「市内小学校利用抽選会」 市内小中学校の利用日を決定するための抽選会を行い円滑な利用日確定を図る。	6月 193校
	「出前授業」 宿泊学習にて山の家を利用する小学校を対象に、施設や活動フィールドの紹介、プログラムについての指導を山の家職員が学校に出向き、事前学習で学習効果を高めるための支援を行う。	通年 102校

### 【利用状況】

項目	合計		
	団体数	実利用者数	延利用者数
学校	幼稚園等	26	1,185
	小学校	390	22,196
	中学校	43	2,703
	高校	17	904
	盲聾養護学校	2	30
	専門学校	1	1
	大学	4	117
青少年団体	その他の学校	8	518
	少年団体	72	3,722
	青年団体	2	29
指導者団体	学校教育関係	0	0
	社会教育関係	0	0
親子	4	34	68
官公厅	19	1,376	2,984
その他	74	2,767	4,658
主催事業	24	1,405	1,405
計	686	36,987	61,565

※総利用人数(前年度比74.3%)

(8) 市民参画課【指定管理事業：札幌エルプラザ公共4施設】

①札幌市男女共同参画センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
活動支援事業	①「チャレンジ支援事業」 ②「働く女性のためのキャリア支援」 起業を希望する女性への総合的な支援、就労中の女性のキャリア形成を目的として各種講座、相談等を実施。	①4/1～3/31 267名 ②6/4～3/29 237名
	「男性のための悩み相談事業」 男性であるがゆえに抱え込んでしまう悩み（仕事、生き方、人間関係、家庭環境）など複雑に入り組んだ問題を整理し、解決に向けた情報提供を行った。	4/3～3/29 137名
	「ワーキング・マタニティスクール」 勤労初妊婦とその配偶者を対象に家庭内での男女共同参画の啓発の機会を設け、育児の軽減、男女がともに子育てができる環境づくりを目的に実施した。	5/26～3/8 294名
人材育成事業	「子ども・若者への男女共同参画事業」 将来の男女共同参画の担い手である子どもや青年層に対して、男女共同参画の啓発を広めることを目標に中高生の居場所づくり、労働教育やデータDV等の時代に即した課題別の講座を実施。	4/19～3/14 174名
	「男性のためのエンパワーメント事業」 男性に対する男女共同参画の意識啓発を目的に男性のための生き方講座、ネットワークづくり等を実施した。 (ココロサプリ、『ふたりでいること』と『ひとりであること』、思春期の娘を育てるお父さんの出番とは、男子会@SAPPORO『居場所とシェアと“磯野家”のその先』	9/26～3/16 81名
	「男女共同参画ワークショップ事業」 男女共同参画の意識を高めることを目的に、民間企業・市民グループなどへ出向いて出張講座を実施した。	8/8～10/4 66名
地域連携事業	「共催事業」 さまざまな市民活動団体や行政機関と連携し団体の持つ専門性やノウハウを生かし、男女共同参画センターの事業方針を達成するという目的に実施した。 (「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」上映会、もっと知りたい！女性（ワタシ）のカラダ！全国キャラバン札幌大会、ハッピーエッグ「女性起業家フェスティバル」、働く女性の全国集会、ピア・妨碍養成セミナー、子育て山あり谷ありPARTⅡ、マザーズハローワーク事業における「パンコン短期セミナー」、「女性の健康週間」におけるピンクリボン運動)	5/16～3/7 1,944名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
情報発信事業	「男女共同参画情報誌「りぶるさっぽろ」の発行」 男女共同参画社会の実現に向けた意識の浸透と、男女共同参画センターの機能の周知をはかるために、男女共同参画に向けた活動等に関する情報や、札幌市の男女共同参画の施策についての情報を提供する目的で情報誌を発行した。	7月、10月、2月発行 各号 5,000 部
	「ホームページの管理等インターネット活用事業」 ホームページにて男女共同参画に関する情報提供を実施した。市民が親しみやすい表示に努め、利便性の高い内容の掲載と新鮮な情報の提供をスピーディに行うことに努め更新した。	4/1～3/31 83,449 名
	「男女共同参画啓発パネル・クリアファイルの制作」 「社会的性別（ジェンダー）」の視点に立った男女共同参画の意識啓発を行うことを目的に実施した。	6/23～28 制作部数 3,000 部

## ②札幌市市民活動サポートセンター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
活動支援事業	「サテライト事業～チカホで団体活動紹介」 市民活動を行う市民活動団体が自らの団体PRを一般市民に行う場を設け、市民活動の担い手の創出や市民活動への理解を深めることを目的に、出展ブース内でワークショップ、成果品の販売、記録映像の放映などを行った。	9月、11月、1月 5,259名
	「サテライト事業～活動事例紹介冊子の制作」 札幌市内で行われる市民活動を中心として10年間での変化や動向、将来展望について考察し、広く市民の方に市民活動団体の持つ想いや取り組むべき課題を伝え、周知することにより市民の参加促進を図った。また、市民活動団体の各種連携事例を掲載することにより、地域における関係づくりの一助とした。	「情報誌『みんなのしみサポ』10周年記念特別」 1/24 発行 5,000 部
人材育成事業	「市民活動相談」 市民活動等の豊富な経験を持つ相談員が、市民活動サポートセンターのスタッフとともに、市民活動に関する一般相談および広範囲な活動に係る相談に応じ、市民活動の促進を図ることを目的として実施した。	4/1～3/31 1,154 件
	「サロン事業～しみさぼつながるカフェ～」 市民活動団体の交流を目的として、団体の得意分野等をテーマに情報交換を行う場を提供することで、その相互作用により市民活動団体同士が協力、連携を深め、市民活動および地域における活動の活性化を目指すことを目的として実施した。	7/25～3/20 132名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
	<p>「サロン事業～ミッションPR～」</p> <p>市民活動団体が別の団体や市民、企業、行政などと交流や情報交換を行う場を提供するとともに、他団体の活動の様子を知る機会としてエルプラまつり会場に訪れた市民の方などに、市民活動団体の活動目的や使命を伝え、情報提供を行った。</p>	9/7 93名
情報発信事業	<p>「HP『さっぽろまちづくり総合情報ポータル』キッズページプロジェクト」</p> <p>「学生まちづくりコミュニケーションツール検討委員会」</p> <p>北海道情報大学の学生を中心としたまちづくりの次世代を担う学生・若者がHPのコンテンツ作成をとおして交流し、市民活動について学習する機会を提供することを目的に実施した。</p> <p>①さっぽろまちづくり総合情報ポータルキッズページ「しみサポKIDS」制作(平成26年3月リニューアル)</p> <p>②学生によるホームページの内容に係る検討委員会の実施</p> <p>③「さっぽろ子ども記者事業」の運営</p> <p>④「しみサポKIDS」広報事業(札幌駅前通地下歩行空間)</p>	7/13～3/19 53名

### ③札幌市環境プラザ

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
活動支援事業	<b>環境活動団体の支援</b>	通年
	<p>環境保全のための活動をしている市民団体の登録を行い、市内の環境活動団体の把握に努めた。また、団体紹介カードを作成し、展示した。</p>	
	<b>環境教育教材の貸出業務</b>	通年 貸出数 137件
	<p>環境プラザが保有している教材の貸出をとおし、環境保全教育の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー比較実験機など環境教育教材の貸出</li> <li>・ワットチェッカーなど環境行動啓発のための教材貸出</li> </ul>	
人材育成事業	<p><b>こどもエコクラブ</b></p> <p>今年度は活動のPRのために本活動の前に2回の体験会を実施した。本活動は前期と後期に分け実施した。北大構内での生き物調べや、ごみ処理工場の見学を行い、活動も紙面でまとめ、環境プラザ内に展示した。</p> <p>(前期) テーマ「生きもの調査団」 (後期) テーマ「ごみ調査団」</p>	6/29～3/22 91名

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業	<b>環境プラザがやってきた</b> 環境プラザのアクティビティを外部のイベントで実施し環境保全の啓発のきっかけとした。 元陣屋図書館フェア、児童会館、水道フェスタ 2013、下水道フェスタ 2013、東区児童会館まつり 2013、新春 初科学体験 2014、「さっぽろ雪まつり」	通年 2,116名
	<b>①教育機関への学習支援</b> <b>②展示物学習支援業務</b> ①学校授業の総合的な学習対応として環境プラザの見学の受け入れを行った。また、中・高等学校職場体験学習の受け入れ、展示コーナー見学対応や環境保全啓発パネル作成の業務体験をした。 ②指導者と綿密に事前打ち合わせを実施し、目的と要望に応じた見学対応や学習支援を行った。	通年 ①1,433名 ②394名
	<b>①環境教育リーダー派遣制度・②全体会</b> ①市内での自然観察会や環境教育の一環として、環境教育リーダーを派遣した。夏場の川での活動、冬の雪を使った活動に人気があった。（札幌市環境教育リーダー30名） ②環境教育リーダー、札幌市、環境プラザスタッフが情報交換を行った。（平成24年度派遣状況報告、札幌市より、生物多様性さっぽろビジョンの概要報告 等）。	①4/1～3/31 8,475名 ②5/9 12名
地域連携事業	<b>全国環境教育施設ネットワークへの参加</b> 公益財団法人 キープ協会等 主催の「第6回つなぐ人フォーラム」に職員2名が参加。全国の環境教育関連施設職員とのネットワークのきっかけとなった。	2/22～2/24 会場：山梨県
情報発信事業	<b>講師派遣パンフ・ポスター作成業務</b> 環境保全アドバイザー制度・環境教育リーダー制度の概要を掲載したパンフレット及びポスターを作成し、配布した。アドバイザーやリーダーの活動の様子がわかるように、利用した団体からのコメントなどを載せた。	日時：3月作成

④情報センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
活動支援事業	<p><b>企業の社会貢献活動推進事業</b></p> <p>社会的課題に取り組む企業の社会貢献活動の支援のため、社会貢献活動 PR 展示を行った。</p> <p>展示内容：「名刺=エコ活動=人との繋がり◆人との出会いを大切にし環境にも配慮しているあなたへ◆」</p>	3/24～3/29 2,000名
人材育成事業	<p><b>ヒューマンライブラリ事業</b></p> <p>正しい情報・知識が不足していて誤解や偏見を受けやすい事柄に関して当事者からの生きた情報を得ることによりその専門的知識を深める少人数情報交流会を実施した。</p>	7/23～3/23 (全4回) 29名
	<p><b>広報力アップ講座</b></p> <p>市民活動団体がより効果的な情報発信を行うため、広報についての課題解決講座を実施した。</p>	7/25～3/27 (全6回) 105名
	<p><b>ライブラリーサロン</b></p> <p>4分野に関連する活動をしている団体に、活動の経験や体験をお話しいただき、参加者へ4分野に関する新たな視点や気づきを得る機会を提供することを目的に実施した。情報センターの情報発信スペースを使用して4分野に関する展示やイベントを開催し、情報発信を行った。</p>	4/1～3/31 実施団体：9団体
情報発信事業	<p><b>図書紹介事業</b></p> <p>社会の動きや季節・行事関連のテーマなどを考慮しつつ、テーマを設け、男女共同参画、消費生活、市民活動、環境保全の4分野に関連する図書や視聴覚資料を紹介した。</p>	4/1～3/31
	<p><b>上映会</b></p> <p>所蔵の映像資料を活用し、4分野（男女共同参画社会・市民活動・消費生活・環境保全）に関する興味関心を高めることを目的として映像資料の上映会を行った。</p>	7/10～3/26 504名
	<p><b>図書等貸出・貸出業務</b></p> <p>蔵書を適切・公平に市民に貸出した。月1回図書整理日を設け、蔵書状況の把握や督促、新着資料の整理などを行った。</p>	4/1～3/31

⑤札幌エルプラザ公共施設（共通）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
賑わい創出事業	<b>北8条アマとホップのフラワーロード事業</b> 公共4施設、地域・企業・行政などが協働で地域の企画に参加。連携と公共4施設の広報を目的に、実行委員会と協働で札幌エルプラザ前花壇および施設周辺花壇に「アマ」と「ホップ」の植栽を実施。	5/20～11/30 42名
	<b>キャンドルナイト事業</b> 日常とは異なるエルプラザ公共施設の一面をPRし、新規の来館者に参加いただくことを目的に実施した。	6/21、6/8～6/16 60名
	<b>スノー・アイスキャンドル大作戦</b> 利用者および利用団体間の交流と、札幌エルプラザ公共4施設の周知、スノー・アイスキャンドル作品の展示出展団体のPRのため実施した。	2/17～3/2 38名
	<b>エルプラまつり</b> 市民活動団体同士、また一般市民・地域・企業・行政等と交流を図る機会を提供し、市民活動の普及、啓発を図ることを目的に実施した。同時開催「まちづくりフェスタ2013」（主催：札幌市）	9/7 9,182名

■エルプラザ公共4施設利用状況

区分		施設利用	相談事業	視察・見学	展示	総合学習	施設外事業	合計
男女共同参画センター	件数	30,877	－	4	－	－	6	30,887
	人数	379,134	627	27	－	－	585	380,373
消費者センター	件数	3,696	－	4	－	－	－	3,700
	人数	42,730	12,790	114	－	－	－	55,634
市民活動サポートセンター	件数	23,314	－	22	－	－	7	23,343
	人数	71,904	1,154	98	－	－	5,578	78,734
環境プラザ	件数	2,135	－	39	－	－	18	2,192
	人数	23,640	71	1,177	29,263	1,403	2,315	57,869
合計	件数	60,022	－	69	－	－	31	60,122
	人数	517,408	14,642	1,416	29,263	1,403	8,478	572,610

情報センター来館者数	人数	106,176
------------	----	---------

平成26年度札幌エルプラザ 公共4施設総利用者数	人数	678,786	※総利用者数(前年度比 101.2%) ※情報センター来館者数(前年度比 114.6%)
-----------------------------	----	---------	---

(9) 市民参画課【受託事業：市民活動プラザ星園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業	<b>協力団体との共催事業</b> 市民活動団体と連携し共催事業を実施した。若者が中心となり組織されている団体と連携し次世代の人材育成について重点的に実施した。 (「GREENDAY2013」、「集まれ！星園子ども広場」、「若者コミュニティコーディネーター養成事業」)	5月～2月 158名
	<b>若者団体の受入及び育成</b> 大通街づくり会社と協同で「ストリートパフォーマンスカーニバル『だい・どん・でん』」の企画・立案をとおしての若者人材育成を行った。	通年 1,508名
連携支援事業	<b>オープンスペース活用</b> 市民活動団体との連携などによるロビー事業の実施により、社会経験および交流の場を創出した。 (「出張販売」、「コミュニティカフェ『たまてばこ』」、「星園café」)	4月～3月 334名
	<b>地域向けイベントの協働運営</b> 児童会館の子どもたちが市民活動を体験すること、および入居団体、市民、相互の活動理解、連携のきっかけづくりを目的として、地域向けイベントを実施した。 (「星園祭り 2013」)	10/12 405名
	<b>地域事業への参加及び紹介</b> 入居団体と共に清掃活動に参加し、地域との連携を深める。 (「第24回鴨々川清掃運動」、「豊水第5町内会落葉清掃」)	6月、11月 27名

■市民活動プラザ星園利用状況

【利用状況】

	活動スペース			貸室						合計
	入居団体	管理団体	小計(A)	会議室大	会議室中	会議室小	活動室	特別会議室	管理団体スペース	
件数	-	137	137	108	173	212	329	80	137	1,039 1,176
人数	48,593	1,324	49,917	5,325	4,778	2,068	13,379	1,059	1,324	27,933 77,850

※利用件数（前年度比 110%）　※利用人数（前年度比 104%）

(10) 企画事業課【地域活動等事業：自主事業、受託事業】

事業区分	事業名	時期・回数・参加人数等
企画提案事業	「さっぽろ水道フェスタ 2013」企画制作・実施業務	6/22～6/23 12,171名
	「札幌市下水道科学館フェスタ 2013」の一部企画運営業務	9/7～9/8 12,638名
受託型事業	「第 65 回さっぽろ雪まつり関連事業」 ①さっぽろ雪まつり大雪像制作（大通会場 7 丁目東側）統括業務 ②札幌市大通 7 丁目大雪像制作団指導業務 ③つどーむ会場すべり台等制作業務	①10月～2月 ②11月～2月 ③10月～2月
	「わくわくタッピーランド」における雪像等の制作及び運営業務	12月～2月
	米袋ソリ工作体験ブース運営業務	2/8～2/11 280名
	「もいわ山関連事業」 ①もいわ山体験学習プログラム実施・運営業務 ②藻岩山ヒルクライムラン運営業務	①通年 2721名 ②5/12 参加人数 350名
	「ウォーキング推進キャンペーン」実施業務	通年
	こどものまち「ミニさっぽろ 2013」事業指導・運営業務	10/5～10/6 約 3,400名
	「水道記念館秋まつり 2013」運営補助業務	10/13～14 11,000名
	「講師派遣・指導業務」 ①札幌幼児保育専門学校講師派遣業務 ②発寒幼稚園体操教室講師派遣業務 ③札幌第一幼稚園運動会講師派遣業務 ④「発見おもしろ教室」体験参観日あそびのコーナー運営・管理指導業務 ⑤「リトルキャンプ 2013」講師派遣業務 ⑥ホワイトスクール雪像制作指導業務	①通年 ②通年 ③6/22 約 1,800名 ④6/23 約 1,700名 ⑤6/29 約 300名 ⑥2月～3月
	「土曜はコトニ」実行委員会運営等業務	通年
	札幌市青少年育成大会運営業務	11/9 321名
	「SORA こそだてフェスティバル 2013」遊びコーナー運営業務	12/14 3,486名
	「円山動物園関連事業」 ①「トワイライト ZOO」運営協力業務	①7月～8月 (全3回)42名 ②8/9～10 32名 ③1/10～11 17名

事業区分	事業名	時期・回数・参加人数等
受託型事業	「洞爺湖・夏の冒険王」企画運営管理業務	7/30～31 30名
	「第23回幌北ふるさと夏祭り」ステージ運営業務	7/27
	「さっぽろ花き市場まつり」縁日コーナー企画・運営業務	7/20 約1,000名
	北海道新幹線開業PRマスコットキャラクター作成ワークショップ運営業務	8月～9月 40名
	「創成川公園サンキューフェスティバル」物品提供、管理運営業務	8/30～9/1
	「第20回厚別区子どもまつり」巨大迷路の運営・指導業務	9/8 約1,600名
	「第3回たまねぎフェスタにおける札幌黄PR事業」に係る巨大迷路管理運営業務	9/21～23
	札幌市中央卸売市場イベント「消費拡大フェア」管理業務	9/22 約32,000名
	「新さっぽろ冬まつり2014」会場制作及び管理運営に係る指導員等の派遣業務	1月～2月 5,000名
	「西区ウォームシェア in ちえりあ」実施業務	2/9 約500名
	「第8回とよひらおもしろスノーパーク」学生企画コーディネート業務	2/16 約1,500名
	NHK ゆきんこフェスタ折り紙ワークショップ・展示コーナーの運営管理業務	2/8～2/9 約500名
	紙芝居ワークショップ運営業務	2/8～2/11 約250名

#### ■その他地域活動等事業（こども育成事業、若者支援自立支援事業）

事業区分	事業名	時期・回数・参加人数等
学習支援事業	まなびのサポート事業「遊學舎 まなべえ」  平成24年度は1区5会場。25年度は5区（中央区・白石区・厚別区・西区・豊平区）25会場へと拡大。最終的な参加中学生は207名。学習支援サポーター（主に大学生）は93名。学習以外にも野外活動、国際交流事業を取り入れ、将来に向けての夢を描き子どものための自己肯定感を高め、生活保護家庭の中学生にとって有意義な事業となった。高校進学率は、100%近い実績を残すことができている。	全800回 延べ3,111人参加
自立支援事業	「岩見沢地域若者サポートステーション」（厚生労働省受託事業）  平成25年7月より、若年無業者の就労支援を目的とし空知管内ではじめて岩見沢に開設。H18年度より受託してきた札幌のサポステで培ったノウハウを活かし総合的な自立支援に取り組んだ。（総合相談事業、他機関との連携・ネットワーク構築、各種セミナー等の実施、学校連携、ジョブトレーニング等）	相談件数 566件 延べ来所者数 539名 新規受付カード数 84名 就労等進路決定者数 15名 連携学校数 21校

## 6. 重要な契約に関する事項

### (1) 地域活動等事業

単位：千円

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
さっぽろまなびのサポート事業	札幌市長 上田文雄	39,900
さっぽろ若者サポートステーション事業	厚生労働省	35,671
岩見沢若者サポートステーション事業	厚生労働省	22,601

### (2) 指定管理事業

単位：千円

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場管理業務	札幌市長 上田文雄	2,204,818
札幌市こどもの劇場やまびこ座管理業務	札幌市長 上田文雄	42,600
札幌市若者支援施設管理業務	札幌市長 上田文雄	126,307
札幌市ポプラ若者活動センター管理業務	札幌市長 上田文雄	26,029
札幌市定山渓自然の村管理業務	札幌市教育委員会委員長山中善夫	73,102
札幌エルプラザ公共4施設管理業務	札幌市長 上田文雄	233,500
札幌市青少年山の家管理業務	札幌市教育委員会委員長山中善夫	122,730
札幌市北方自然教育園管理業務	札幌市教育委員会委員長山中善夫	28,108

### (3) 受託事業

単位：千円

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌市ミニ児童会館管理運営業務	札幌市長 上田文雄	1,033,997
札幌市児童会館障がい児対応充実業務	札幌市長 上田文雄	88,998
札幌市児童会館中・高校生夜間利用等運営業務	札幌市長 上田文雄	74,295

## 7. こども基金（スマイルキッズ）

### (1) 協力者一覧

寄付金総額 859,000 円 全 46 件

#### 【法人】 5 件

寄付者氏名	寄付額
株式会社北野興業	30,000 円
株式会社館野オフィスサービス	30,000 円
株式会社ハビングループ	100,000 円
株式会社アートピアエミナ編集部	155,000 円
東亜産業株式会社	100,000 円
合 計	415,000 円

#### 【個人】 14 件

寄付者氏名	寄付額
個人寄付者	204,000 円
合 計	204,000 円

寄付者氏名	寄付額
人形劇団プラスワン	10,000 円
人形劇団ぽつけ	10,000 円
人形劇団グ・こぶた	10,000 円
人形劇団ぽけっと	10,000 円
東札幌町内会	5,000 円
前田ゆたか町内会	10,000 円
ライオンズマンション 24 軒 第3管理組合	50,000 円
南平岸天神山町内会 他 19 件	135,000 円
合 計	240,000 円

### III. 事務報告

1. 設立年月日 : 昭和55年4月1日

#### 2. 定款に定める目的

この法人は、人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

#### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 青少年の健全育成と社会参加に関する事業
- (2) 社会教育の推進に関する事業
- (3) 市民活動の振興に関する事業
- (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

#### 4. 事務所の状況

主たる事務所 : 札幌市西区宮の沢1条1丁目1番10号  
従たる事務所 : 札幌市北区新琴似8条1丁目1番34号 2階

#### 5. 役員等に関する事項

##### (1) 理事

理事長	岡 村 龍 一	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 理事長
専務理事	齋 藤 彰	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 専務理事
理 事	忍 博 次	北海道社会福祉協議会 副会長理事
理 事	佐々木 和 宏	(一社)札幌青年会議所 元理事長
理 事	佐 藤 和 子	札幌市女性団体連絡協議会 会長
理 事	相 馬 宏 哉	NPO法人ネイチャープログラムデザイン理事長
理 事	前 田 元 照	(一社)札幌市私立幼稚園連合会会长

##### (2) 監事

監 事	西 田 史 明	札幌商工会議所総務部総務部長
監 事	梅 津 太	税理士

[平成26年3月31日現在 計9名]

平成 25 年度における理事会は、次のとおり 3 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 25 年 6 月 11 日	1 「平成 24 年度事業報告」の件 2 「平成 24 年度財務諸表」の件 3 「定時評議員会の日時並びに目的である事項」の件 4 「平成 25 年度予算の変更」の件	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決
平成 25 年 11 月 7 日	1 「平成 25 年度予算の変更」の件	1 可決
平成 26 年 3 月 13 日	1 「平成 25 年度予算の変更」の件 2 「平成 26 年度事業計画書及び収支予算書等の承認」の件 3 「平成 26 年度事務局の組織及び運営」の件	1 可決 2 可決 3 可決

(3) 評議員

評議員	石垣 寿枝	(公社)札幌市子ども会育成連合会 常務理事
評議員	上田 厚子	(公社)札幌市母子寡婦福祉連合会 会長
評議員	大木 光恵	N P O 法人ぶろぐれっしょん 代表理事
評議員	加藤 喜久子	北海道情報大学 教授
評議員	川端 美樹	札幌市 P T A 協議会 副会長
評議員	菊池 恒	札幌市商店街振興組合連合会 理事長
評議員	小林 元治	社会福祉法人札幌市豊平区社会福祉協議会 会長
評議員	杉岡 直人	北星学園大学 教授
評議員	瀧上 春男	(公財)北海道青少年育成協会 専務理事

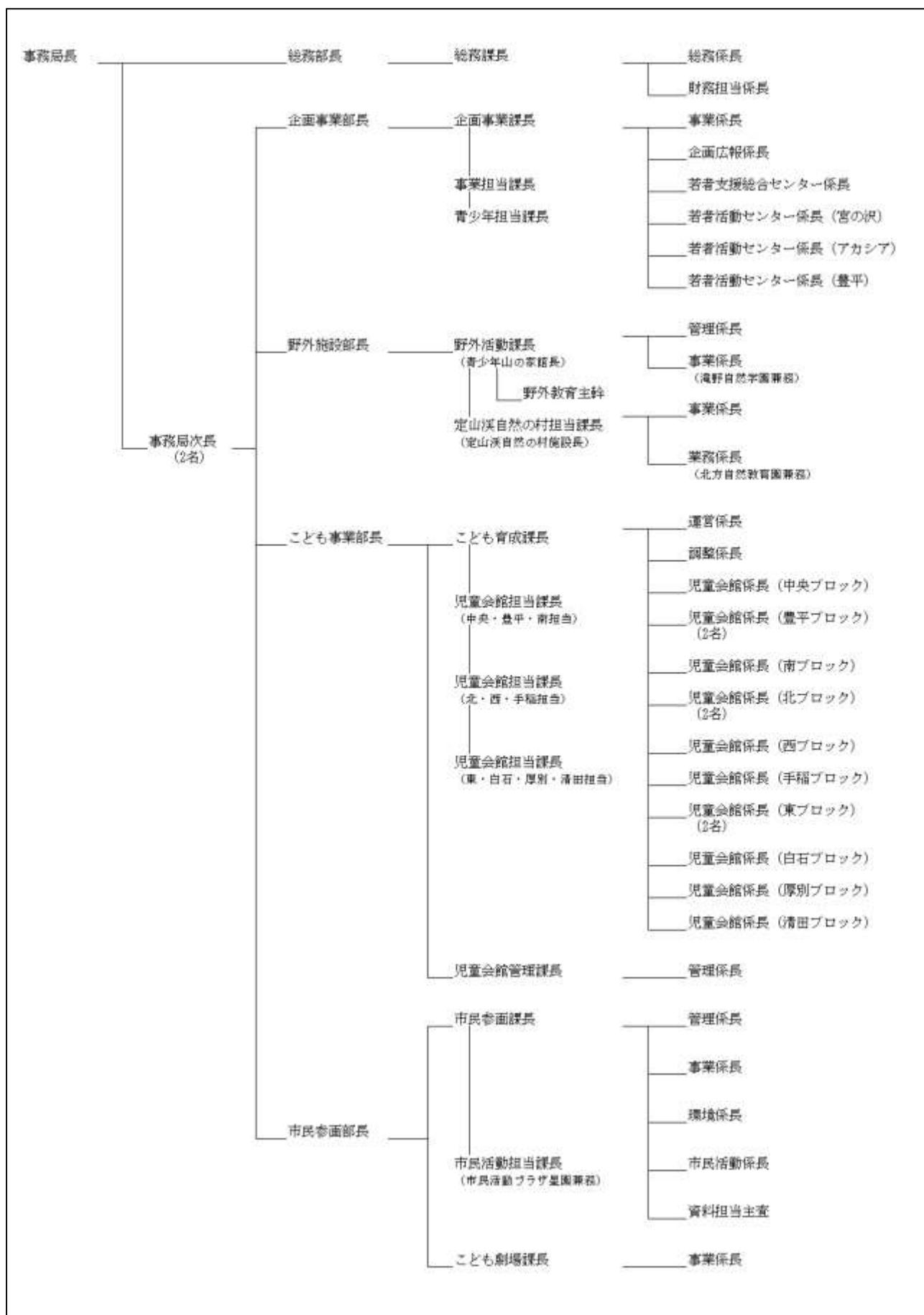
[平成 26 年 3 月 31 日現在 計 9 名]

平成 25 年度における評議員会は、次のとおり 1 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 25 年 6 月 26 日	1 「平成 24 年度事業報告」の件 2 「平成 24 年度財務諸表」の件	1 可決 2 可決

## 6. 職員に関する事項（平成 25 年度末現在）

平成 26 年 3 月 31 日現在における事務局組織は次のとおりである。



(1) 主要な職員

役職名	氏名	採用年月日	担当職務
事務局長(専務理事兼務)	齋藤 彰	平成22年5月10日	事務局の総括
事務局次長	大川泰尚	昭和55年4月1日	
事務局次長	谷山正司	平成23年4月1日	} 事業部門の総括
総務部長	生出裕一	平成3年3月1日	財団運営・総務課業務の総括
こども事業部長	寺田陽子	昭和56年11月1日	こども育成課・児童会館管理課業務の総括
市民参画部長	岩寄義純	昭和63年6月1日	市民参画課・こども劇場課業務の総括
野外施設部長	下川原清貴	平成2年4月1日	野外活動課・滝野自然学園の総括
総務課長	佐々木勝敏	平成14年4月1日	総務・財務・労務・経理等の総括
企画事業課長	井崎光男	昭和61年4月1日	企画事業課業務の総括
事業担当課長	石井一彦	平成2年4月1日	自主事業の実施等総括等
青少年担当課長	穴澤義晴	平成2年4月1日	若者支援事業の総括
定山渓自然の村担当課長	志賀和行	平成1年12月1日	定山渓自然の村の総括
こども育成課長	五十嵐健二	平成4年3月21日	こども育成課の総括
児童会館管理課長	会田彰仁	平成5年4月1日	児童会館管理に関する総括
児童会館担当課長	斎藤隆弘	昭和62年2月1日	児童会館(中央・豊平・南担当)
児童会館担当課長	佐々木洋一郎	昭和57年4月1日	児童会館(東・白石・厚別・清田担当)
児童会館担当課長	斎藤隆仁	昭和61年4月1日	児童会館(西・北・手稲担当)
市民参画課長	岡本峰子	平成2年4月1日	エルプラザ公共4施設業務の総括
市民活動担当課長	蓮井潤子	平成5年4月1日	市民活動に関する調整
こども劇場課長	矢吹英孝	平成5年4月1日	こども劇場課の総括

(2) 職員数

職員数合計 1,177名

[事務局次長]

札幌市OB	1名
-------	----

[主任指導員]

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性 74名	3名増	43歳2ヵ月	18年7ヵ月
女性 80名	—	46歳6ヵ月	21年6ヵ月
合計又は平均 154名	3名増	44歳11ヵ月	20年1ヵ月

〔その他〕

指導員	398名	臨時職員	80名
専門指導員	82名	パートスタッフ	342名
再任用職員	8名		
サポートスタッフ	112名		
常勤職員数 ①	600名	非常勤職員数 ②	422名
合 計 (①+②)			1022名

## 8. 会計に関する事項

公認会計士の関与の有無

監査契約締結（「独立監査人の監査報告書」：平成26年5月23日受理）

